

# 令和4年度 伊丹市 認知症地域支援推進員活動報告

## 認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：1名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

### ◎医療・介護・地域支援サービスの連携を図るためのネットワークの構築および強化

- ・専門職間のつながりと今後の体制づくりを検討する「認知症ケア多職種研究会」の開催
- ・認知症ケアに関わる専門職を対象とした「認知症ケア多職種協働研修」の開催
- ・地域ケア会議における専門的な見地からの助言
- ・認知症初期集中支援チームの活動支援
- ・市内の認知症疾患医療センターとの連携による事業の拡大
- ・認知症かかりつけ医や認知症専門医、市外の認知症疾患医療センターとの連携による個別支援

### ◎認知症の人やその家族への早期支援を目指した相談支援体制の構築

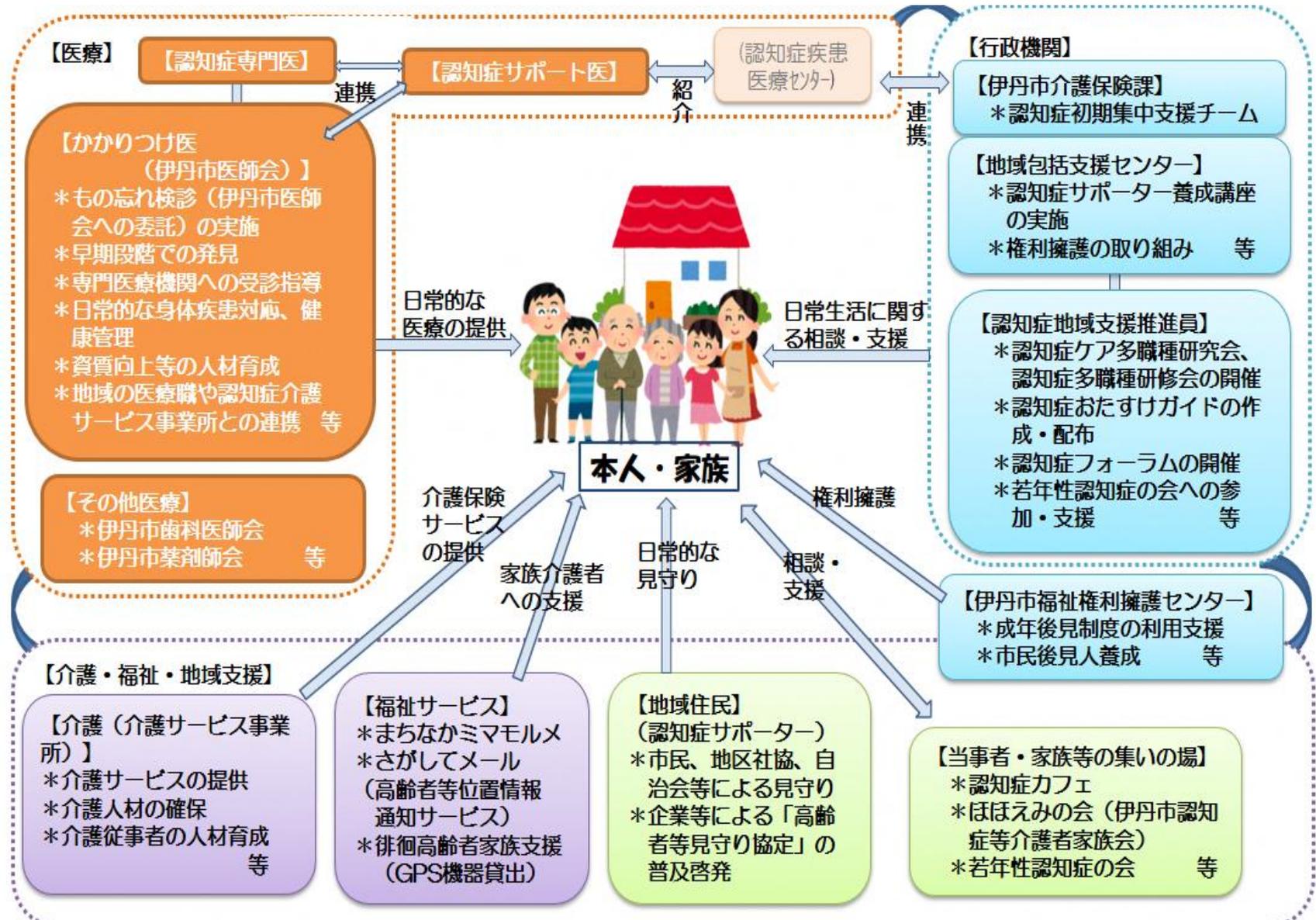
- ・認知症カフェの立ち上げ支援および本人や家族支援の検討
- ・当事者会、家族会、ボランティアグループとの連携および活動支援

### ◎地域への普及・啓発事業の企画および実施

- ・市内全域を対象とした認知症サポーター養成講座の実施
- ・認知症キャラバンメイトや認知症サポーターの活動創出およびフォローアップ
- ・市民を対象とした認知症フォーラムの開催

報告者氏名: ●伊丹市地域包括支援センター 認知症地域支援推進員 田中 友紀  
●伊丹市 介護保険課 羽口 歩衣

# 伊丹市 認知症施策全体図



## 標題【認知症疾患医療センターとイベントの協働開催】

### 「いたみオレンジフェア

～認知症、1人で悩まず共に繋がろう～」

開催日時:令和4年9月15日(木)14:00～16:00

共催の経緯:市内の認知症疾患医療センターが、世界アルツハイマーデーに合わせた認知症啓発イベントを企画し、市および認知症地域支援推進員に共催依頼があった。市・推進員としても地域住民に向けた普及啓発は重要な活動であるため、協働で実施することとなった。

開催目的:市民が認知症に関する知識や相談窓口および医療機関について知ること。また、認知症について1人で悩んだり抱え込まないように公的な相談機関の他、地域の社会資源を知り、繋がる契機にする。

参加対象:伊丹市民(定員50名/最終39名来場)



# ●役割分担

機関	事前準備	当日の役割
認知症地域支援推進員	<ul style="list-style-type: none"><li>●認知症カフェと家族会代表者への協力依頼</li><li>●案内チラシの作成</li><li>●PRと参加申し込み受付</li><li>●掲示用パネルの作成</li><li>●講師依頼</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●会場設営</li><li>●個別相談対応 (地域の社会資源)</li></ul>
市(介護保険課)	<ul style="list-style-type: none"><li>●会場予約(減免申請)</li><li>●パンフレットや介護保険の手引き等の準備</li><li>●推進員と共に本イベントの位置付けを確認</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●会場設営</li><li>●受付</li><li>●個別相談対応 (介護保険制度)</li></ul>
認知症疾患医療センター	<ul style="list-style-type: none"><li>●疾患医療センターのリーフレット準備</li><li>●掲示用パネルの作成</li><li>●講義資料の作成</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●前半の講義</li><li>●個別相談対応 (症状・治療・対応方法など)</li></ul>

前半

# 講義「さまざまな認知症状への理解」

疾患センターの医師による講義を実施。認知症の種類に加え、その症状の現れ方や進行具合は個人差があることを学んだ。またこれらの知識をベースに持ちながら本人の想いを尊重して接することの大切さを知る。

**いたみオレンジフェア**  
～認知症、1人で悩まず共に繋がろう～

1994年に国際アルツハイマー病協会は、世界保健機関(WHO)と共に毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取り組みを行っています。伊丹市加藤認知症疾患医療センターにおいても、認知症の本人やご家族が1人で悩まないよう、医師・看護師・地域福祉推進員・認知症ケアマネジャー等の社会資源と繋がることを目的に、本イベントを開催します。

**参加費 無料**  
**定員 50名**

**日程** 令和4年9月15日(木) 14:00～16:00  
(受付: 13:30～)  
(※申し込み締切: 令和4年9月12日(月))

**会場** 東りいたみホール6階中ホール  
(伊丹市富ノ前 1-3-3)

**内容** 講義「さまざまな認知症への理解! (14:00～15:15) (伊丹市加藤認知症疾患医療センター)」、  
認知症にも種類があり、また症状の現れ方や進行具合もそれぞれ、  
の大切さを学びます。 医師を講師として、  
展示・資料コーナー(15:15～16:00) 認知症に関する相談窓口や療いの場に関する資料、書籍などを閲覧  
できます。また、スタッフが認知症に関するご質問も受け付けます。

伊丹市地域包括支援センター(担当: 田中)  
住所: 伊丹市広場3丁目1番地2階 いたみいきいきプラザ内  
TEL: 072-787-6197 FAX: 072-787-6911

お問い合わせ  
お申し込み先

伊丹市加藤認知症疾患医療センター 伊丹市介護保険課 伊丹市地域包括支援センター



## 後半 「展示・資料コーナー閲覧＆質疑応答」

認知症に関する相談窓口や集いの場に関する資料、書籍などを閲覧できるようにした。また、スタッフが認知症に関する質問や相談へ対応し、情報提供や必要な相談窓口を案内した。



## 【まとめ】

- 認知症について市民に発信できたことに加え、認知症疾患医療センターと共催し、1つのイベントを無事終えられたことは、互いの成功体験になった。
- 疾患センターの強みは医療者としての知識を提供できることである一方、市・推進員の強みは全体の構成の立案や各団体（認知症カフェ等）へ協力を呼びかけて資料を作成したり、PR活動を担える点である。それぞれの強みを生かし、役割を明確にすることで、より中身の充実したイベントを開催することが出来た。

### 最後に...

推進員の役割として、事業を展開するにあたり認知症疾患医療センターはじめ地域のさまざまな機関に協力依頼することがある。一方でそれらの機関が地域に向けて何か発信したい時、活用してもらえ立ち位置にいることも推進員として大切なことだと考えている。今後も協力関係を構築しながら伊丹市の認知症施策を進めていきたい。